



### ITHD グループ 2015 年年頭所感

ITホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：前西規夫、以下ITHD）は、グループ各社の「2015年年頭所感」を発表いたします。

#### 【ITホールディングス株式会社 代表取締役社長 前西 規夫】

明けましておめでとうございます。

昨年、日本経済は本格回復には至りませんでした。アベノミクスの成長戦略の一環として、日本のグローバル化に向け、日本版スチュワードシップ・コード、会社法改正、コーポレートガバナンス・コード等、一連の「ガバナンス改革」と称すべき政策が発表されました。

そして本年は、これら政策が施行・実施される年であり、我々ITHDグループとしても前向きに取り組むを始める年と考えています。

昨年、我々ITHDグループは、「グループ全体最適」、「明確な強み（＝成長エンジン）の構築」などの施策推進において大きな成果を得られた年であったと考えています。6月にはグループのコーポレートロゴを統一し、ブランドメッセージ「Go Beyond」を制定しました。これにより、グループのまとまり、結束が強くなったと感じています。

さらに、事業会社各社がそれぞれに「新たな強み・とがった部分」を作り、それらの連携・協業が始まりました。これにより、我々グループの「お客様への提案力・発信力」が強まったと自負しています。

本年4月からは新中期経営計画がスタートします。新中期経営計画では、今あるグループの「連携・協業」を、“共に働く「協働」”“共に創る「協創」”へと発展させ、お客様に付加価値を提供するITブレイン、ビジネスパートナー集団として次のステージへと「Go Beyond」したいと思えます。

#### 【TIS 株式会社 代表取締役会長兼社長 桑野 徹】

2015年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

年末には多くのお客様へご挨拶に伺い、「IT投資重点化」「成長戦略」「差別化戦略」「グローバル戦略」投資への強い思いを伺うことができました。2015年のTISを取り巻く経営環境は、追い風であることを、お客様の生の声からも改めて実感しました。

2015年は4月より始まるTISの次期中期経営計画のスタートの年です。次期中期経営計画は、環境変化に対応できる強い会社になるための「収益力の強化」、お客様の経営課題の解決と成長戦略を実現するための「自社の強みの育成・強化」、加速するグローバル化の流れに対応するための「海外事業の更なる拡大」、それらの基盤となる「社員個々の力を集団の力へ還元する環境の構築」といったテーマを基本方針として策定しています。

そして、次の3ヵ年を通じてTISを「お客様の成長戦略にコミットする、No.1ビジネスパートナー」にしたいと考えています。

残り3ヶ月となった2014年度のビジネスを着実に推進し、2015年を「お客さまの成長戦略にコミットする、No.1ビジネスパートナー」を目指す次期中期経営計画の万全なスタートを切る1年としたいと考えています。

#### 【株式会社インテック 代表取締役社長 滝澤 光樹】

新年明けましておめでとうございます。

2014年の日本経済は全体的に緩やかな回復基調が続く一方、為替市場では大幅な円安が進行し、円安が収益にもたらす恩恵は産業間でばらつきが見られました。情報サービス業界におきましては、お客さまの投資が引き続き改善傾向を示すなか、当社の事業環境は好調に推移しました。

当社は昨年1月、多くのお客さまと当社の礎を築いていただいた諸先輩に支えていただき、創立満50年を迎えることができました。あらためて感謝申し上げます。

昨年4月から、中期経営計画「“社会システム企業”を目指して」をスタートさせました。本計画では、基盤となる事業のさらなる拡大と質の向上を目指し、その上で「社会システム企業」になること、「グローバル企業」としての存在を獲得するという目標を掲げました。「社会システム企業」とは、当社が長年培ってきた自治体、医療、金融、製造、流通などの分野でのノウハウを活かし、将来の社会的変化を先読みすることで、企業、業界、社会に対して、新しいシステムやサービスを先んじて提案し具体化することができる企業に変わっていくということです。グローバル事業においては、すでに展開している中国、ベトナム、タイの拠点に加え、今年はさらにASEANでの拠点拡充を図り、積極的に展開してまいります。

企業や社会、私たちの生活においてITが必要不可欠なものとなっている今、自らが未来の社会を予見し、新しい価値を世の中に提供できるよう、より一層努力してまいります。

本年も引き続きご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 【株式会社アグレックス 代表取締役社長 山口 勝規】

明けましておめでとうございます。

今年は当社にとって大きな節目の年になります。創立50周年を迎えるとともに、親会社であるITHDの完全子会社となり、BPO事業を担う中核会社として大きな役割を果たすことになりました。そして、次の50年、100周年に向けて「売上高1000億円企業に成長し、ITHDグループの発展に寄与する」という目標を掲げ、新たな道を歩み始めることになります。

今年はひつじ年です。「果実が熟していない未熟な状態」を表すと云われます。まさに我々が、新たな企業体として生まれ変わり、次の世代に向けて再出発する状態を言い表しています。

さて、4月からの中期経営計画を策定中ですが、その三本の矢と云うべき方針があります。まずは、ITHDグループ各社のBPO事業を継承する前に、当社グループの事業を見直し再編成することによって、競争力を強化することです。これには、M&Aによる側面強化も含まれます。

次に、品質と生産性の向上・改善です。全社的な運動として力を注ぎ、ビジョンを共有して具体的に進めていきます。

三つ目は、海外事業展開の加速化です。ベトナムのF-AGREX GLOBAL、タイの現地ビジネスが当社の将来を担う事業に育つよう、精力的に取り組んでいきます。

これらの課題を着実にやり遂げ、「1000億円企業を目指して」より一層成長できるようにしっかりと事業基盤を作っていきます。社員一人ひとりの力を結集するとともに新たな目標を共有し、次の50年を明るく夢溢れるものにして、すばらしい100周年を迎えられるよう邁進する所存です。

本年もご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

### 【クオリカ株式会社 代表取締役社長 加藤 明】

新年あけましておめでとうございます。

2015年はクオリカビジョン2020に向けた第二フェーズの1年目となります。クオリカビジョン（グローバルITサービスイノベーター）実現を目指し、大きな柱となる【ベストパートナー事業】【先進ITサービス事業】【テクノロジーインサイド事業】と、その推進技術基盤となる【テクノロジープラットフォーム領域】、それぞれの分野でワンランク上のサービス・技術向上を目指し、お客様にプラスワンの価値を提供し続けていきたいとの思いから、2017年に向けた中期経営目標を、【Plus One Innovation 2017】と銘打ち、ビジネスを推進して参ります。

お客様にとって『なくてはならない存在』であり続けるためにも、強みをさらに伸ばし、先進技術を取り入れた高付加価値なITサービスをグローバルレベルで提供し続けていきます。

ITHDブランドメッセージ【Go Beyond】のもと、昨年よりもさらに明るく生き生きとした風土作りにも努めて参りますので、引き続きご愛顧賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

### 【AJS 株式会社 代表取締役社長 河崎 一範】

新年明けましておめでとうございます。

昨年の日本経済は消費税増税がありましたが、円安・株高・原油価格の下落といった追い風に支えられ回復基調にありました。また政府の各種施策もあり、企業の成長戦略でも一定の成果が見られつつあります。これに伴い、企業の設備投資が増えるなどIT業界にも明るい兆しが見えています。

その様な環境の中、当社では4年の歳月をかけたお客様の大型プロジェクトがいよいよこの4月に完了します。今年、本プロジェクトをつつがなく完成するとともに、新中期経営計画をスタートさせ、新たな「成長」に向けた取り組みを進めます。当社が実績を持つ製造業の中で、特に化学、住宅、医療・医薬などの分野ではこれまで培った業務知識を生かしさらなる拡大をはかります。「カスタマーインサイト」を重視し、お客様に密着してその思いを受け止めさせていただくとともに、ITHDグループの総合力を発揮して「協働」でのソリューション提案を進め、一層のサービス向上に努めて参ります。

本年も引き続きご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

以 上

### ITホールディングスグループについて

ITホールディングスグループは、約2万人、50社超から成るIT企業グループです。グループ各社が様々なエキスパートであり、日本国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのクライアントのビジネスとその先にあるお客様の日々を支えています。クライアントの課題を解決するだけでなく、クライアントのさらにその先にあるお客様のニーズを先取りして一歩進んだ提案をしていきます。

### 【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

ITホールディングス株式会社 広報・IR部 橋田

TEL：03-5338-2272 E-mail：pr\_info@itholdings.co.jp